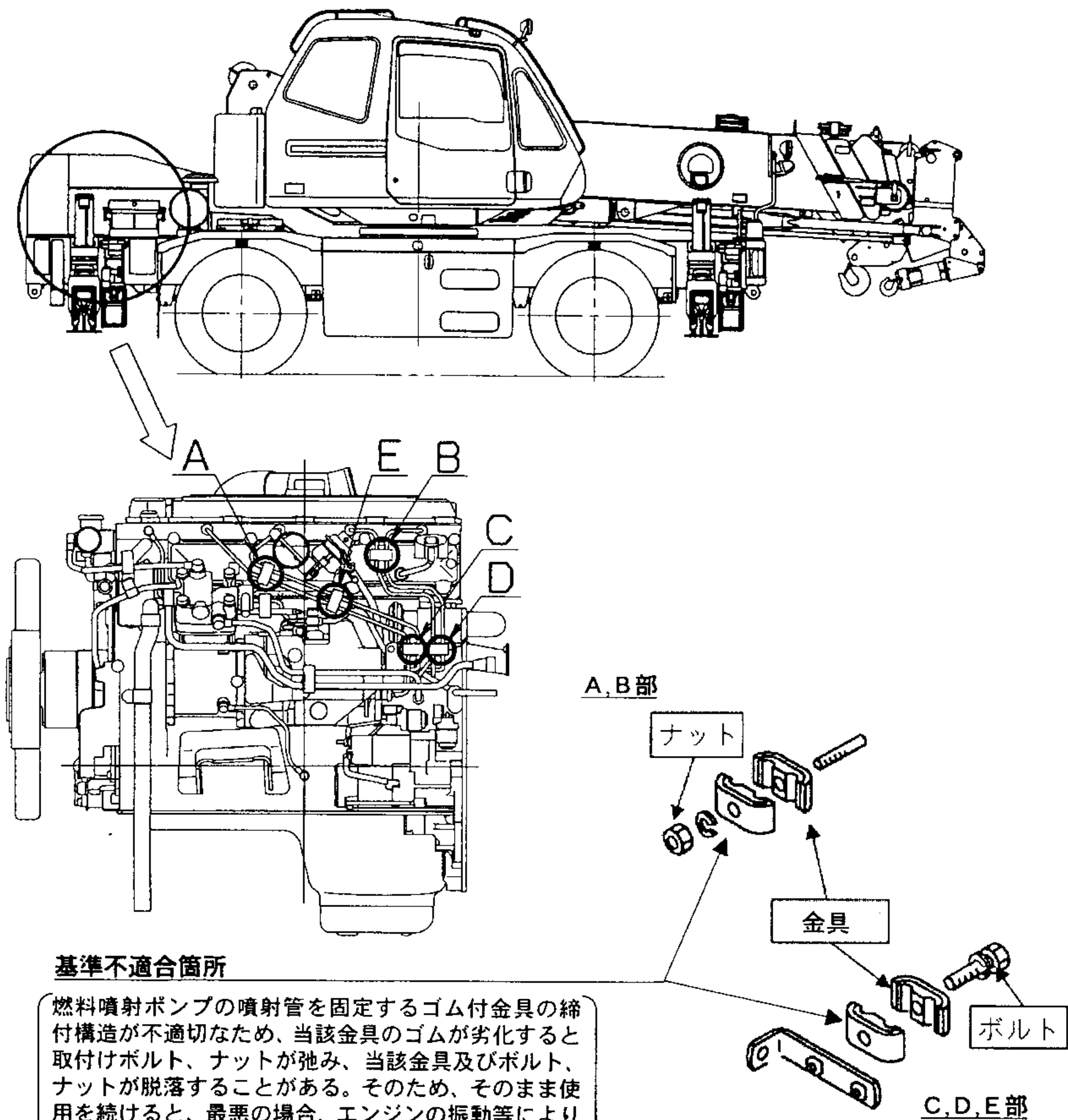


改善箇所説明図



基準不適合箇所

燃料噴射ポンプの噴射管を固定するゴム付金具の締付構造が不適切なため、当該金具のゴムが劣化すると取付けボルト、ナットが弛み、当該金具及びボルト、ナットが脱落することがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、エンジンの振動等により噴射管に亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

当該金具の取付け構造に応じ、次の措置を行う。

- ① 当該金具をボルトで締付ける場合は、ボルトネジ面に接着剤を塗布したスプリングワッシャ付きの対策品と交換する。
 - ② 当該金具をナットで締付ける場合は、フランジ付きナットをフランジなしナットと交換し、スプリングワッシャを追加するとともに、植込みボルトのネジ面に接着剤を塗布し、締付ける。
- さらに、当該金具のゴムの状態を確認し、劣化しているものは新品と交換する。
なお、整備時の注意事項を記載した注意銘板をエンジン上面へ貼付けする。